

【意見集約】魅力と活力ある県立高等学校づくりに向けのご意見を聴く会< 湖南 >

日 時 平成 22 年(2010 年)11 月 28 日(日) 10:00 ~ 11:38

場 所 守山市民交流センター(参加者 7 1 名: 発言 1 3 名)

(魅力と活力ある学校づくり関連)

目的意識や学習意欲を育てるためには教師との丁寧な関わりが必要。

魅力と活力ある学校づくりとは施設や備品の整備ではなく、子どもたちに生きる力をつけていくことがすべて。高校の魅力とはどういうことだと考えているのか。

塾に行かせないでもよい学校づくりをしてほしい。塾に行かない生徒も、学校だけで希望の進路が拓けるようにしてほしい。

県立高等学校の課題は実際に学校現場の子どもや保護者からあがってきたものなのか。

教師は子どもたちに対して、生きる力をつけていくための力量が必要。高校再編は県の財政状況を軸とするのではなく、教員の資質向上に力を入れてほしい。教育委員会には充実したスタッフを配置してほしい。

校長がトップダウンで教員に自分のビジョンを押しつけるのならば真の意見ではない。

県立高校には、私立高校のような魅力ある学校づくりについての危機意識が見えない。

高校教育の課題に関しては、常に改善するよう、様々な人と話し、改善してほしい。

青写真として何校くらいの再編を考えているのか。再編のイメージとして学科再編等があげられているのに、具体的な再編の数字があげられないのはおかしいのではないか。

魅力ある学校づくりと学校の統廃合とはどのように関係しているのか。

(学校規模、学級規模関連)

学校には適正規模があると思うが、適正規模を判断するのは各学校現場の教員であり、一人ひとりの生徒への思いの中から描かれてくるもの。

小規模校が増加していることが課題とされるが、小規模校でも部活動で活躍している学校はある。小規模でも部活動等で頑張っており、小規模校だから活力がないとは言えない。

(計画の周知と意見反映関連)

県立高校の再編に関する話を耳にするのは今回が初めて。今日の説明資料のような内容について知っている人はまわりにほとんどいない。今日の意見聴取会には各校 2 名しか参加していないので、再編内容をよく知らない人も多くいる。

生徒や保護者の意見や望んでいることを聞いたことはあるのか。学校現場で一人ひとりの生徒に直接関わっている先生の意見をしっかり聴くことは大切。

各市町議会が意見書を提出し、慎重に、住民合意の中で再編の話は進めるようにとあったと聞かすが、多くの自治体から意見書が出ている意味を考えてほしい。

(その他)

学習指導要領でこれ以上は教えてはいけないということはあるのか。学習指導要領以上のことを学校で教えてはじめて塾がなくなる。

生徒数減少は全県一区制度を導入した平成 18 年度当時から既にみられているが、今回、高校再編を行うための課題とされている生徒数の減少に関して、この 5 年間でどのような変化があったのか。

同趣旨のご意見については集約して取りまとめました。説明資料に対する質問等については、省略しています。